

令和4年度の重点的な取組について

令和4年5月23日

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

令和4年度の重点的な取組(案)

①「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進

- ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
- ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

②多機関連携型タイムラインの推進

- ・今年度作成した「多機関連携型タイムライン(案)」を基に、「**流域タイムラインの作成・活用**」を踏まえ、関係機関とのワーキングによる議論の場を設けて、さらに具体的な検討を進め、タイムラインの活用を推進

①「中讃地域防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」
の推進

- ・【人材育成プロジェクト】の具体的な取組の推進
- ・【地域連携プロジェクト】の具体的な取組の推進

令和4年度 プロジェクトの主な活動メニュー(案)

【人材育成プロジェクト】

1) 地域防災リーダー認定制度の導入(香川県)

- ①地域防災リーダー認定制度の策定
- ②地域防災リーダー育成研修カリキュラム

2) リレー防災みらいサロンの定期開催 LINEWORKSで中継

- ③「LINE WORKS」で行うこと
- ④リレー防災みらいサロン
- ⑤体験型の防災訓練(LINE WOKSを活用した双方向の情報伝達)

【地域連携プロジェクト】

1) マイ・タイムラインを用いた新たな体験型の防災訓練の実施

- ⑥体験型の防災訓練(防災サバイバル・キャンプ)

2) 地域イベントへの参加・防災ブースの設置

- ⑦地域イベントの参加(防災ブースの出展)

3) モデル地区を対象とした地区防災計画の取組支援

- ・香川県防災士会や香川大学との連携

①地域防災リーダー認定制度の策定

- 地区防災計画の取組を支援するため、**地域防災リーダーを認定する制度設計**を検討



【事例】宮城県防災指導員認定証



【事例】腕章(宮城県)

出典:宮城県Webページ「宮城県防災指導員認定制度について」

防災リーダー育成の事例

②地域防災リーダー育成研修カリキュラム

- 地域防災リーダーの人材育成を推進するため、**既存の様々な取り組み**などの活用を検討

②地域防災リーダー育成研修カリキュラム

○人材育成を推進するため、自主防災組織リーダー研修会（香川県）を活用

令和3年度自主防災組織リーダー研修会を開催します

県では、住民と行政の「自助・共助・公助」を基本に、災害に強い県づくりを進めており、共助の要である自主防災組織の活動を活性化し、地域防災力を強化することは大変重要です。そこで、自主防災組織のリーダーの資質の向上等を図るため、平成14年度から自主防災組織リーダー研修会を開催しています。

今年度は、一般財団法人日本防火・防災協会との共催で、「頻発する豪雨災害に対する備えを学ぶ」、「地域の防災力を高める取組を学ぶ」をテーマとして、下記の研修を行います。

記

- 1 日 時 令和3年11月20日(土) 10時30分～16時40分
- 2 場 所 香川県消防学校（住所：香川県高松市生島町689-11）
- 3 参加者 自主防災組織のリーダー等 35名（予定）
- 4 主 催 香川県、一般財団法人日本防火・防災協会
- 5 後 援 総務省消防庁

6 スケジュール

時間	場所	内容
10:30 ～10:40	2階大教室	開会式：危機管理総局長 挨拶
10:40 ～11:10	〃	災害対策基本法の改正等について 講師：県危機管理課
11:20 ～12:00	〃	「香川県防災ナビ」の活用と実践 講師：県危機管理課
13:00 ～14:00	〃	防災気象情報の利活用について 講師：高松地方气象台
14:10 ～14:50	〃	先進自主防災組織事例紹介 講師：かがわ自主ぼう連絡協議会
15:00 ～16:30	〃	地域の防災力を高める自主防災組織の活動について 講師：兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 阪本 真山美氏
16:30 ～16:40	〃	閉会式：危機管理課長 挨拶 アンケート、修了証授与

③「LINE WORKS」で行うこと

1) 平常時(事前防災、防災まちづくり) 知る・学ぶ・聞く・答える

項目	行政	住民団体
情報発信 (掲示板、アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主催の行事をお知らせ ・行事の参加者を募集 ・アンケート調査(イベント参加申込、意見調査、会議日程調整など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント活動などの行事をお知らせ ・行事の参加者を募集 ・アンケート調査(イベント参加申込、サービス利用調査など)
グループトーク (チャット)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報資料や活動報告をアップ ・注意喚起をアップ ・主幹メンバー内での連絡・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告をアップ ・グループ内での連絡・調整 ・困りごとの相談(人探し、物探し、アイデア募集など)
カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事の予定をアップ(イベントや会議の日程調整に活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事の予定をアップ(様々なイベントへの参加)

2) 災害時(減災、縮災) 知らせる・助ける

項目	行政	住民団体
情報発信 (掲示板、アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険情報や避難情報の発表状況をお知らせ(リンク先などを案内) ・避難場所や避難所の情報をお知らせ ・災害ボランティア募集の情報をお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認(アンケートを利用) ・ボランティア活動の協力者を募集
グループトーク (チャット)	<ul style="list-style-type: none"> ・アップされた地域の情報を集約して、避難対策や交通規制に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所の写真と位置情報をアップ ・避難所や避難場所の情報をアップ ・困りごとの相談(避難支援、物資支援、専門家のアドバイスなど)

※今後、取組の周知とともに、随時、協力メンバー参加の拡大を推進する。

④リレー防災みらいサロン

人材育成・地域連携を図るため、住民組織が**交流できる場（サロン）**を定期的を開催

プログラム（事務局案）

会場＋オンライン参加

※継続的に実施

開催回	場所	テーマ	内容（2時間）		コメンテーター
			前半 （講習＋現場オンライン中継）	後半 （情報提供 ＋カフェスタイル座談会）	
第1回	丸亀市 〇〇コミュニティセンター	防災情報 （その1）	<ul style="list-style-type: none"> ● 気象庁 高松地方気象台 ● 「自らの命は自らが守る」（ビデオ） 	<ul style="list-style-type: none"> ● LINEWORKS勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸亀市 ● 防災士会
第2回	まんのう町 〇〇コミュニティセンター	防災情報 （その2）	<ul style="list-style-type: none"> ● 香川県 危機管理課 ● 「香川県の防災情報システム」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2組織からの情報提供（活動内容を紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> ● まんのう町 ● 防災士会
第3回	丸亀市 〇〇コミュニティセンター	地震	<ul style="list-style-type: none"> ● 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 ● 「南海トラフ巨大地震への備え」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2組織からの情報提供（活動内容を紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸亀市 ● 防災士会
第4回	まんのう町 〇〇コミュニティセンター	風水害	<ul style="list-style-type: none"> ● 国土交通省 香川河川国道事務所 ● 「洪水から身を守るには ～命を守るための3つのポイント～」（ビデオ） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2組織からの情報提供（活動内容を紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> ● まんのう町 ● 防災士会
第5回	丸亀市 〇〇コミュニティセンター	避難	<ul style="list-style-type: none"> ● 香川県 河川砂防課 ● 「香川県における災害リスクと避難行動の実行」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2組織からの情報提供（活動内容を紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸亀市 ● 防災士会

※参加者が楽しめる企画が必要
 ※何をしたか（テーマ性、連携を深める）
 ※ターゲットを明確化

サロンの場を活用し、
 様々な組織と知り合いになる

⑤体験型の防災訓練（LINE WORKSを活用した双方向の情報伝達）

行政と住民がリアルタイム情報を共有し、適切かつ迅速な防災行動が実行できるようになるため、**LINE WORKSのトーク機能を活用した防災訓練・避難訓練の開催**

LINEを活用した防災訓練を実施！



高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

平成30年7月豪雨を経験した方々の声として『避難時に被災状況の把握に苦慮した』という声が多く寄せられたことから、AI防災協議会に協力のもと、令和2年6月2日12:30～13:30の1時間、LINEを活用し、大雨時の被災状況等を地域全体で共有する訓練を国・県・市・地域住民が連携して実施しました。

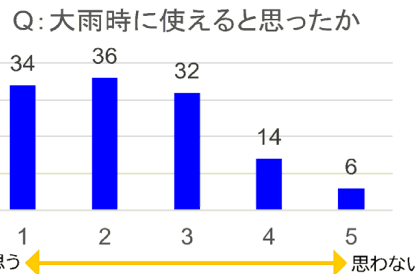
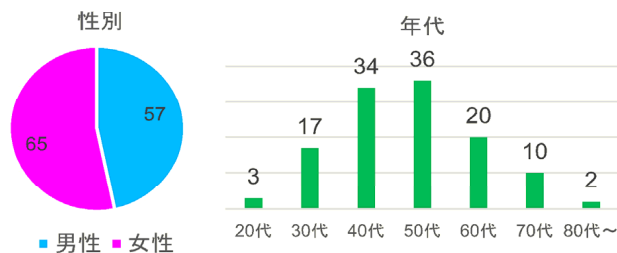
大雨により高梁川及び小田川の水位が上昇し、氾濫危険水位を超過していくという想定の下、地域住民が現地の状況を撮影・LINEで送信したものが、Google Mapに自動的に表示されるシステムを活用し、地域の状況を把握し、住民は避難ルートの検討を、行政は被害状況の把握や、復旧方法の検討などを行いました。

LINE訓練へは398名が参加し、276件の情報提供がありました。訓練後に実施したWEBアンケートでは、半数以上が「大雨の際に使える」と感じていましたので、SNSによる情報共有は有効なツールの一つになりうることを感じました。



国交省、倉敷市情報共有訓練
(倉敷市真備支所)

訓練参加者webアンケート結果(122名)



参加者の主な意見

- ・被害の位置がわかるため現在の状態が分かりやすかった。
- ・浸水している場所を避けての行動できそう
- ・情報がリアルタイムにわかり助かる
- ・正確な情報かどうかの判断が必要
- ・システムへの慣れが必要
- ・高齢者には難しかった

⑥体験型の防災訓練(防災サバイバル・キャンプ)

○防災を“楽しく”学ぶため、キャンプイベント等による体験型の防災訓練の開催

備える! 中日サバイバルキャンプのビジョン

『備える! 中日サバイバルキャンプ』は、毎年、積極的かつ継続的に開催していきます。

ホップ

サバイバルキャンプの手法を学ぶ

- サバイバルキャンプに参加してもらうことで、防災・減災の技と知識を身につけていただきます。
- 運営の主体となる地域の企業・NPO・ボランティアに参加を呼びかけ、地域の防災リーダーの掘り起こしを図りつつ、サバイバルキャンプの手法を学んでいただきます。



継続開催で、
大きなムーブメントに!!

ホップ

ステップ

ジャンプ

ジャンプ

新たな防災ムーブメントの創造に向けて

- 防災に「デザイン」を加えることで“楽しい”という要素を加えアレンジした幅広い事業を手掛けていきます。
- 中日新聞の広報力と販売店のネットワーク、名古屋大学の知識、地元NPO・行政の実行力、企業のデザイン力、若いボランティアの力など多様な人々を巻き込んだこれまでに例の少ない防災イベントを継続的に展開することで、愛知県から全国への展開も視野に入れて防災イベントの新たなムーブメントを創造していきます。

ステップ

次世代の防災リーダーと担い手の育成

- 開催日までに大学生を中心としたボランティアに防災レクチャーを行い、運営の担い手を育成する取り組みを展開。このように中日新聞社では、サバイバルキャンプの参加者のみならず、あらゆる機会・場を活用し、防災・減災のための知識や事前の備え、サバイバル力(人間力)を身につけ、能動的に防災に取り組むことができる次世代の人材を育成するESDの取り組みを実践していきます。

親しみやすいデザインの防災啓発グッズの開発とレンタル

- 身構えがちなテーマである防災をたくさんの人に親しんでもらうために、デザインの力を活かし、防災に関心のない層にも訴求するツールやグッズを制作、これを地域の防災イベントなどにレンタルし活用していただきます。

多様な展開と認知促進

- 1泊2日で広域公園を中心としたキャンプだけでなく、地域の防災避難所、商業施設、教育機関などでプログラムの一部の展開と資材をレンタルして開催するデイキャンプを開催し、一般に向けて、サバイバルキャンプの認知を広く図っていきます。



イメージ

出典: Webサイト「備える!
中日サバイバルキャンプ」
[https://chunichi-survival.com/
index.html](https://chunichi-survival.com/index.html)

⑦地域イベントへの参加(防災ブースの出展)

○防災意識向上につながる**機会の増加**のため、地域イベントへの参加

◆ 防災フェア (西村ジョイ)

- 高松市のホームセンター(西村ジョイ)で防災フェアを開催。会場には約20のブースが設置。
- 減災対策、避難生活、避難所対策等に便利なグッズが並び、防災士の資格を持つ従業員などが説明。
- 防災士の資格を持つアナウンサーによる「災害時に役立つキャンプ術」をテーマにしたトークショーを実施。

◆ 防災フェア (満濃森林公園)

- 自衛隊と野菜ソムリエ達がコラボして作る、美味しい防災食を試食したり、土のうづくりを体験
- 被災地での活動講話や、防災に関する器材、パネル、ローリングストック(備蓄品)等の展示

防災のことなら西村ジョイ!

高めよう!地域の防災力
災害時でも自宅でも過ごせる在宅避難をめざして

防災フェア IN 成合

西村ジョイ成合店
駐車場にて
3/13・14
9:00~17:00

減災対策	避難生活	避難所対策
・家具の地震対策 (効果的な取付け方法を学ぶ)	・保存食・飲料水 (非常時にいつもの食料を管理する方法)	・衛生対策 (避難所における感染症予防対策)
・オフィス防災 (職場における防災の備え)	・停電対策 【車(PHV車)】でできる電源供給の知識 【様々なバッテリー】を利用した停電対策	・ペット同行避難 【ペットは家族。同行避難グッズ紹介】
・地震火災対策 (水消火器体験で火災に備える)	・車中泊 (車内で過ごす快適な空間づくり)	・ペットの汚れとニオイ対策 【人とペットの共生を目指す衛生管理】
・水害対策 (土のうづくり体験)	・キャンプで避難生活 (アウトドアを学び災害に備える)	・AED体験 【緊急時に対応できる知識と行動】

停電対策・避難生活
最新のバッテリーを体験・アウトドアを学び災害に備える

もしもに備える「車給電」
車(PHV車)でできる
電源供給の知識

RAV4 PHV
がやってくる!!

3/13(土)
13:00~13:30
災害時に
役立つ
キャンプ術

防災士
KSB 赤木アナウンサー

※写真はイメージです

NISHIMURA JOY

令和4年度 プロジェクトの活動スケジュール(案)

活動項目	令和3年度			令和4年度												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
減災対策協議会 (国・県)					●											
水害に強いまち づくり検討会(国)		●													○	
LINE WORKS	<hr/>															
地域防災 リーダー研修会			未定													
リレー防災 みらいサロン			未定													
体験型の 防災訓練			未定													
地域イベント への参加			未定													
地区防災計画の 取組支援			未定													

②多機関連携型タイムラインの推進

- ・今年度作成した「多機関連携型タイムライン(案)」を基に、「流域タイムラインの作成・活用」を踏まえ、関係機関とのワーキングによる議論の場を設けて、さらに具体的な検討を進め、タイムラインの活用を推進

多機関連携型タイムラインの推進

「流域タイムラインの作成・活用」と 「WEB会議ツールによる危機感の共有」の推進

防災・減災プロジェクト第2弾(重点推進施策)

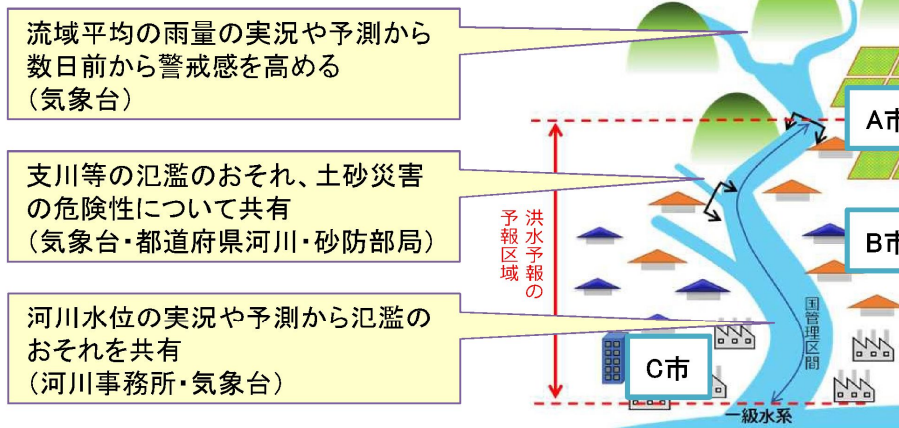
＜河川・気象の行動のきっかけとなる情報をまとめた流域タイムラインを作成・活用！＞

- 河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で作成。
- 河川の増水・氾濫時の更なる円滑な防災対応や訓練等に活用することで振り返りによる改善を実施。(不断の改善により防災対応をブラッシュアップ)

＜台風接近時等のWEB会議ツールによる危機感の共有を実施！＞

- 市区町村による避難情報発令などの防災対応を支援するため、河川事務所、気象台のほか、都道府県の河川・砂防部局とも連携し、WEB会議ツールを活用することで防災情報や危機感の共有、流域自治体の対応状況等を関係者で一斉に共有

■ 流域タイムラインのイメージ



■ 水害対応タイムラインと法定計画との関係

領域	法定計画等 (策定主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災業務計画等 (地方整備局等、事務所等)	流域タイムライン
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	市区町村タイムライン
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティ タイムライン
個人、 事業者等	避難確保計画(要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	マイ・タイムライン

多機関連携型タイムラインの推進

今後、取り組む「WEB会議ツールによる危機感の共有」

- 令和3年9月に決定した総力戦で挑む防災・減災プロジェクト第2弾の重点推進施策の1つとして、WEB会議ツールによる危機感の共有(いわゆるWEBホットライン)を推進。
- 大雨・洪水が想定される数日前～前日において、河川事務所等、気象台、都道府県、市区町村等の対応可能な防災担当者がWEB会議ツールにより一同に会し、危機感や対応の見通しなどの共有により、連絡体制や各組織の災害体制の構築等を促進。
(各機関の長の参加は状況に応じて判断)

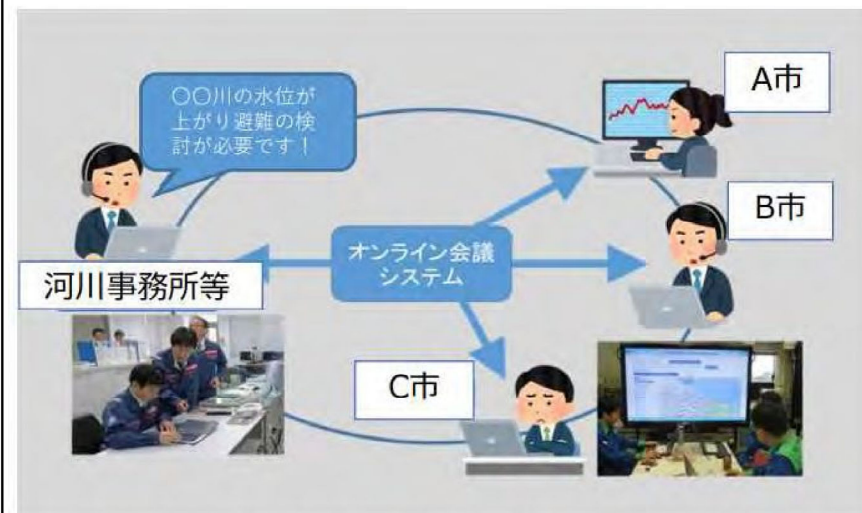
■ 総力戦で挑む防災・減災プロジェクト第2弾 重点推進施策①

一人でも多くの方が、円滑に逃げられるように
～住民避難～

国土交通省では、**地域防災力を強化して**、一人でも多くの方が円滑に逃げられるように、以下の3つの対策を強化し、**誰も逃げ遅れない社会の実現**を目指す。

1. 住民等が**災害リスクを「実感」し、避難意識を向上**させるよう、**リスクコミュニケーションを強化**
2. 住民等に対して市町村が適切に避難情報を発令できるよう、**市町村への支援を強化**
3. 昨年の豪雨で多くの命が失われた**避難行動要支援者に関する対策を強化**

■ WEB会議ツールによる危機感の共有イメージ



オンライン会議により流域全体で同時に情報共有